

## 平成 29 年度

# 第2回 柏市地域公共交通活性化協議会

### 【交通空白地域における高齢者アンケート結果】

1 柏市内の交通空白地域の状況.....	1
1.1 交通空白地域の状況 .....	1
1.2 交通空白地域における人口の状況 .....	2
2 交通空白地域におけるアンケート調査(高齢者).....	4
2.1 調査の目的 .....	4
2.2 調査の概要 .....	4
2.3 調査結果 .....	5
3 調査結果を受けた課題と対策の方向性 .....	16

平成 29 年 8 月 25 日



# 1 柏市内の交通空白地域の状況

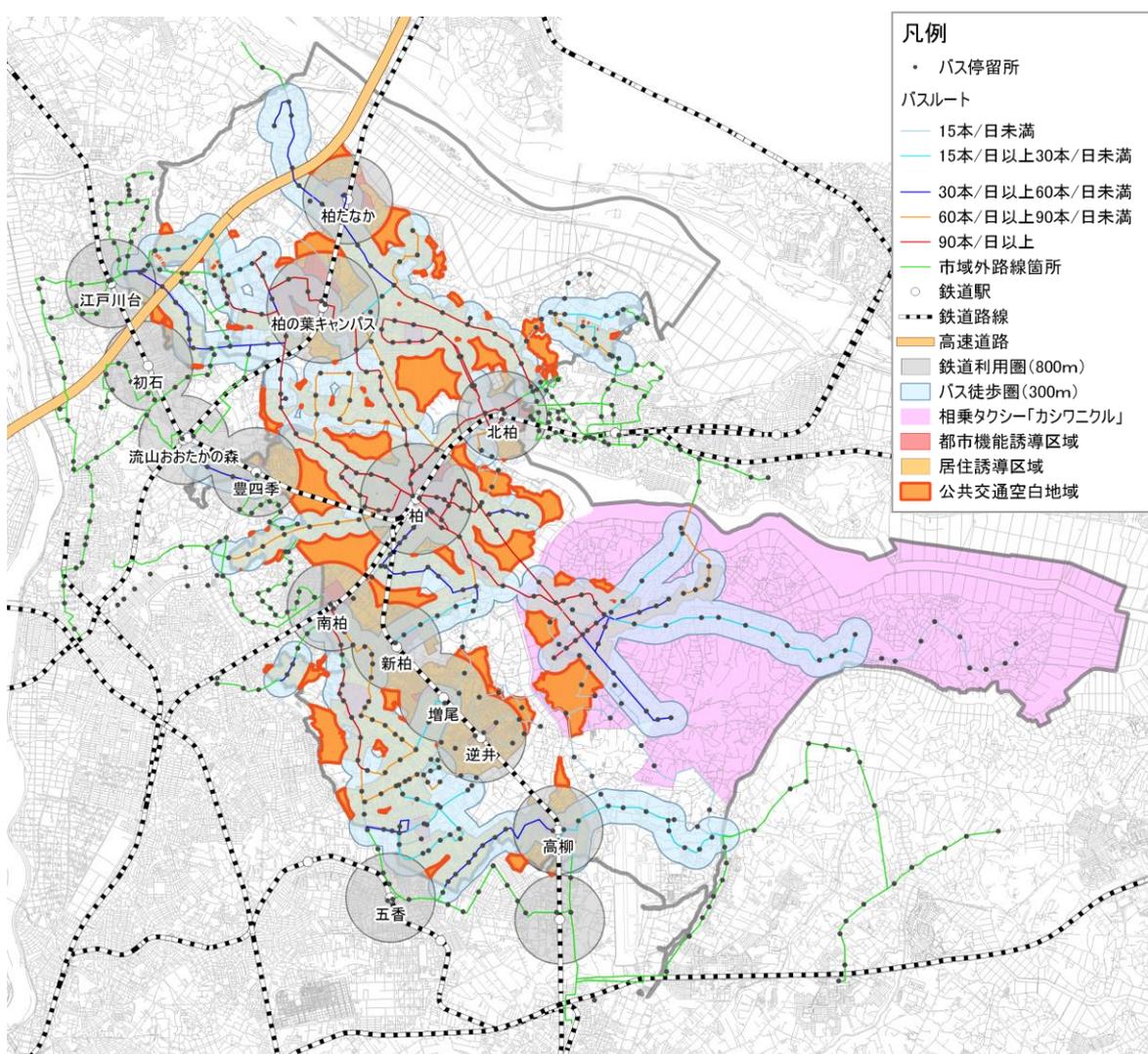
## 1.1 交通空白地域の状況

立地適正化計画で居住誘導区域と指定している場所のうち、交通空白地域は以下の図に示す範囲である。柏駅周辺の中央地域に多く広がっている。

### 交通空白地域の条件

立地適正化計画での居住誘導区域のうち、以下の範囲より外側に位置する地域を設定

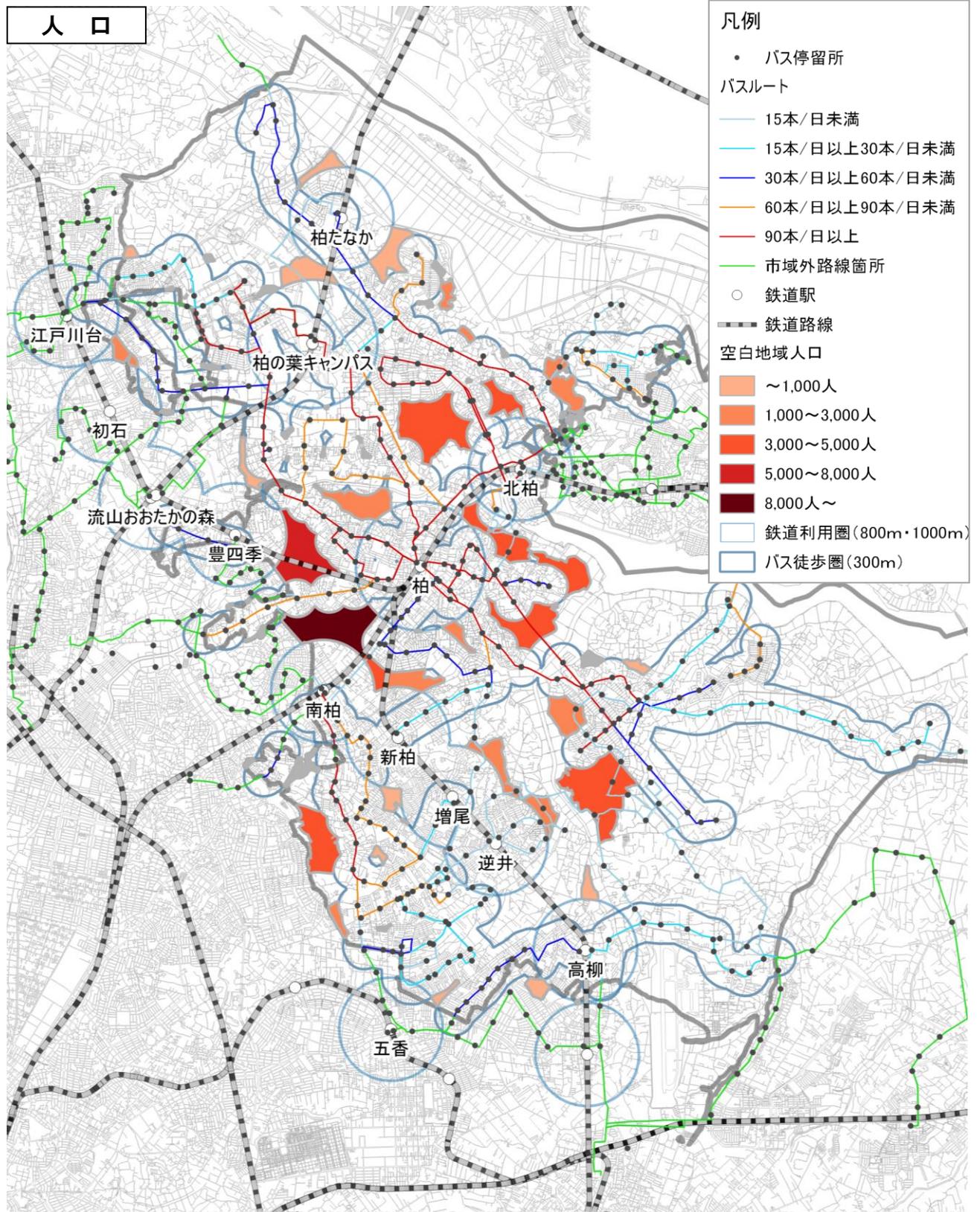
鉄道	柏駅・柏の葉キャンパス駅	1km
	その他駅	800m
	バス停（片道15本/日以上）	300m



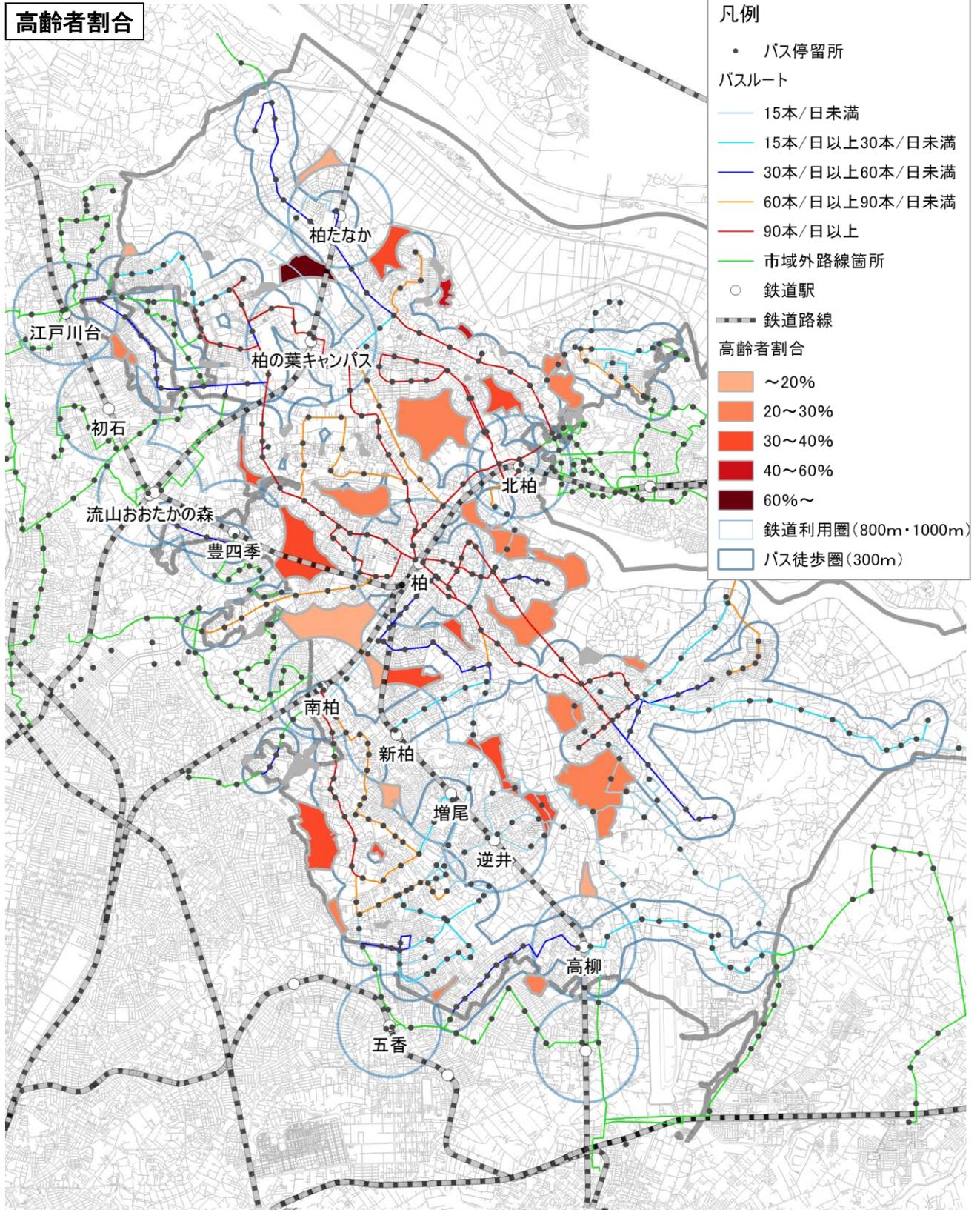
## 1.2 交通空白地域における人口の状況

交通空白地域内の人口および高齢者割合を示す。

中央地域を中心に空白地域内の人口が多くなっており、特に柏駅と南柏駅間、柏駅と豊四季駅間で多くなっている。



高齢者の割合は地域により大きな差はみられない。



## 2 交通空白地域におけるアンケート調査(高齢者)

### 2.1 調査の目的

柏市内の交通空白地域において、特に今後交通手段が限られてくる高齢者の移動実態を把握し、適切なサービスの提供を検討するため、高齢者を対象としたアンケート調査を実施した。

### 2.2 調査の概要

#### 2.2.1 実施概要

調査概要は以下のとおり。

調査対象：柏市内の交通空白地域（居住誘導区域内）に居住する高齢者（65歳以上）

配布数：500票

調査期間：平成29年7月12日～平成29年7月24日（回収期限）

#### 2.2.2 調査項目

アンケート調査の設問は以下のとおり。

日常の移動	自動車の移動	運転免許の有無
		免許返納の意向
		返納しない場合の理由
		外出時の自動車の利用方法
	自宅の最寄の鉄道駅	
	自宅の最寄のバス停	
	目的別の主な移動 (日常的な買物、通院、非 日常の買物、娯楽 別)	外出頻度
		移動交通手段
		店舗名・目的地
		片道の移動時間
公共交通でなければ生活に影響のある目的地（自由記載）		
公共交通の利用に不便な事項（自由記載）		
コミュニティバス 交通について	コミュニティバス1回の想定運賃別の利用頻度	
	コミュニティバスの運行費用の負担方法別の運行希望	
公共交通について	公共交通への希望（自由記載）	
個人属性	住所（町丁目）（自由記載）	
	年齢	
	世帯構成	

## 2.3 調査結果

### 2.3.1 アンケートの回収状況

アンケートの回収状況は以下のとおり。

配布数	500 票
回収数	243 票
回収率	48.6%

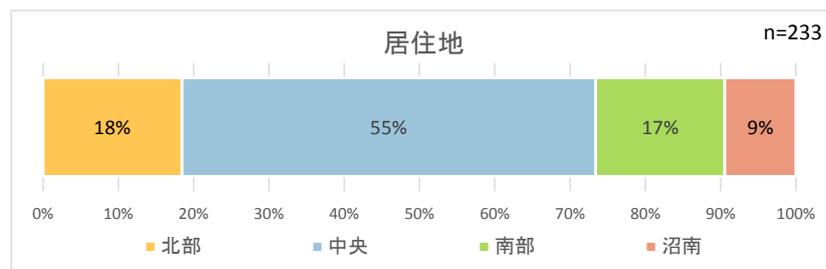
※7月31日回収までで締め切り

### 2.3.2 アンケートの集計結果

#### (1) 回答者属性

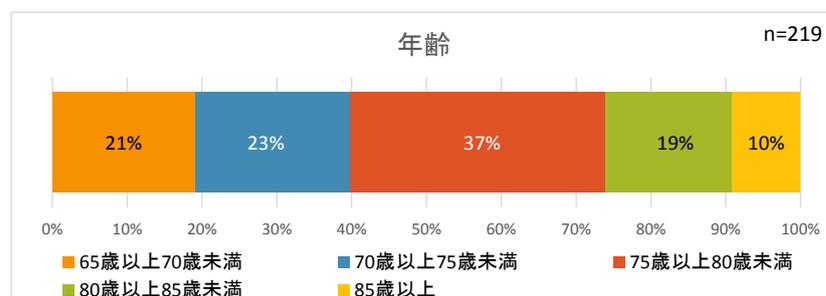
##### 1) 居住地

○回答者の居住地は中央地域の55%が最も多く、次いで北部地域の18%である。



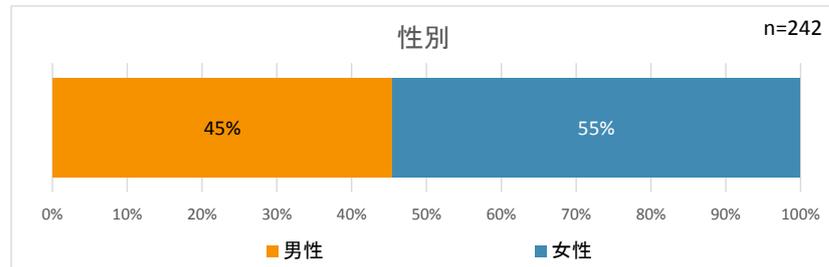
##### 2) 年齢

○どの年代でも一定の回答を得ており、中でも最も多いのは75歳以上80歳未満の37%である。



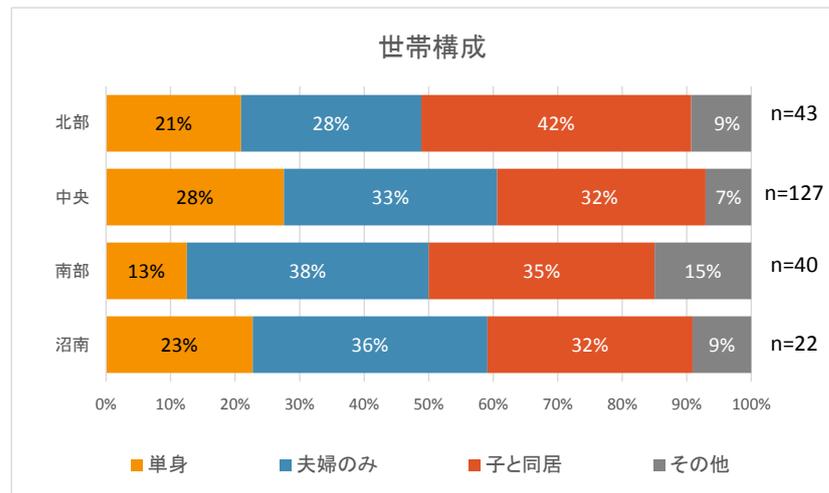
### 3) 性別

○性別は男性が45%、女性が55%である。



### 4) 世帯構成

○世帯構成では、中央地域では単身者が他の地域より多く、そのほか、北部地域では子と同居、南部地域では夫婦のみが多い。

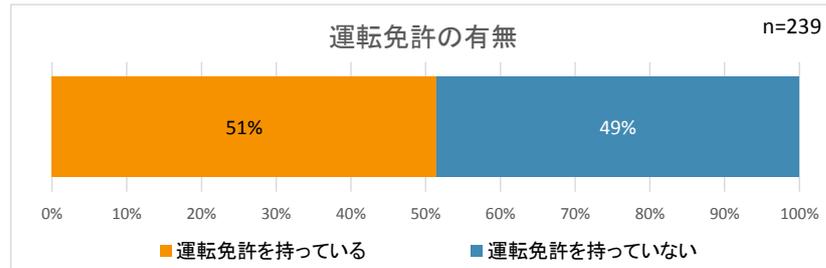


## (2) 日常の移動について

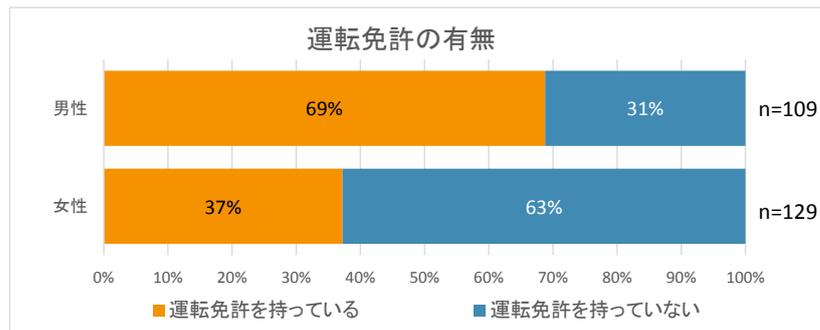
### 1) 運転免許の有無

- 全体での集計では、半数程度が運転免許を保有しているが、男女別にみると女性の保有割合は低く 40%以下である。
- 地域別では、南部地域、沼南地域では 60%程度が免許を保有しているが、北部地域、中央地域では免許の保有は半数以下であった。

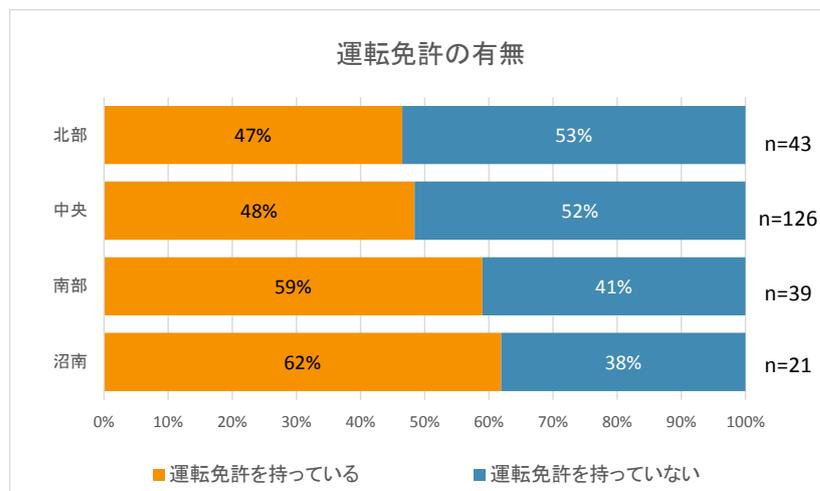
#### <柏市全体>



#### <性別>



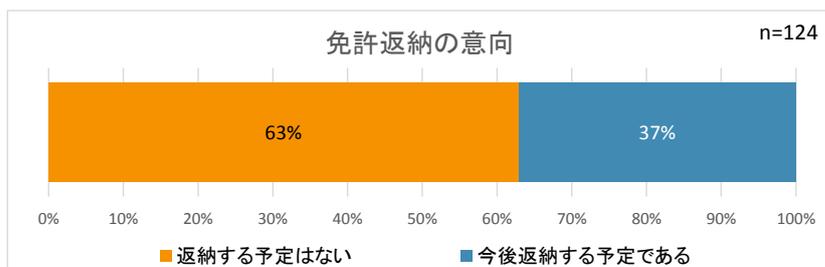
#### <地域別>



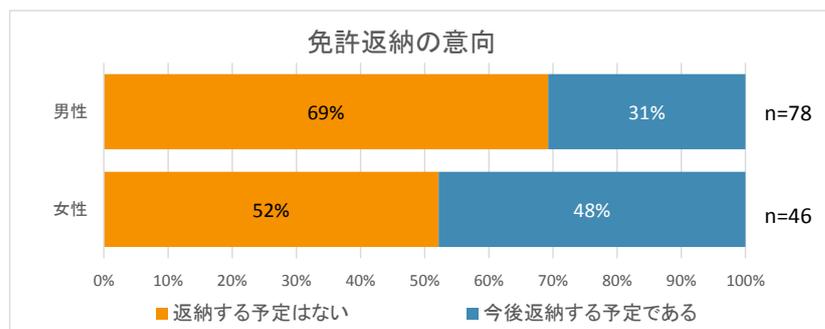
## 2) 運転免許返納の意向

- 運転免許の返納意向は全体では63%であり、男女別に見ると男性のほうが返納の意向が高い。
- 地域別では、北部地域、中央地域、沼南地域の「返納する予定はない」が70%程度なのに対し、南部地域では46%と少ない。

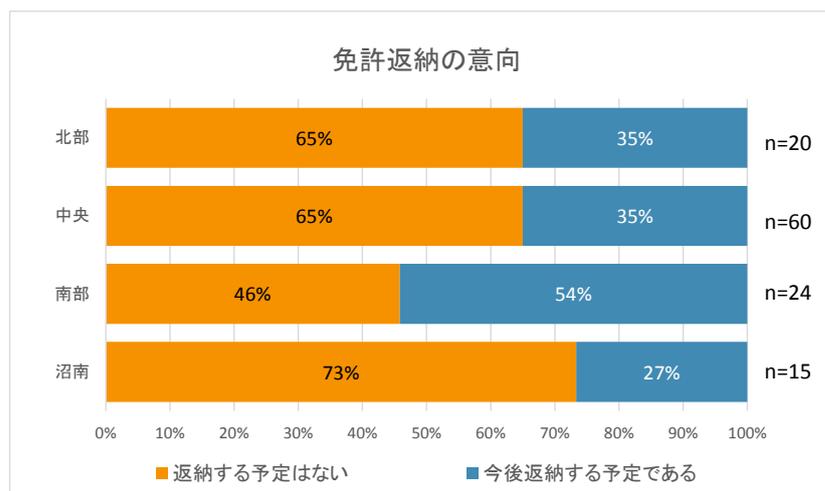
### <柏市全体>



### <性別>



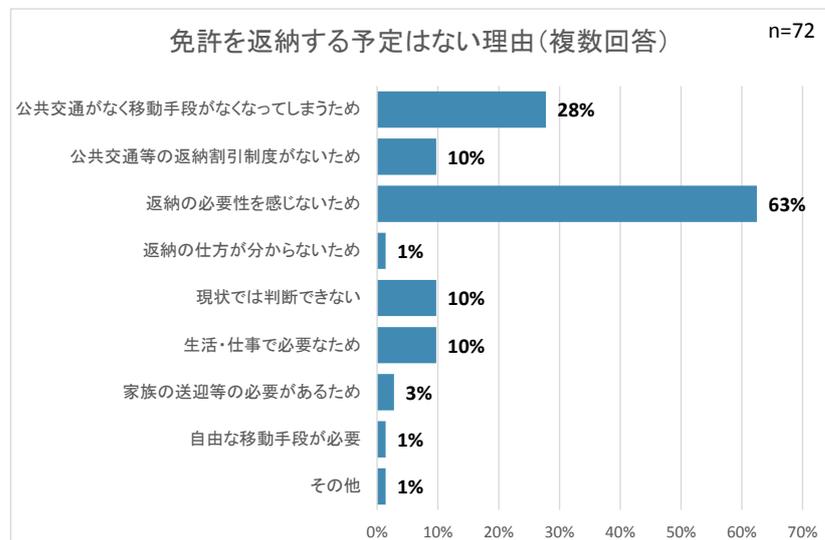
### <地域別>



### 3) 返納しない場合の理由

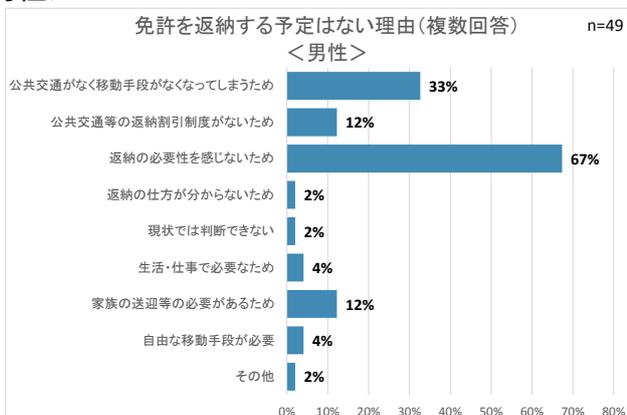
- 全体で見ると、返納しない理由として「返納の必要性を感じない」が63%と最も高く、次いで「公共交通がなく移動手段がない」が28%である。
- 男女別にみると、全体での集計結果と同様に「返納の必要性を感じない」が最も多くなっているが、その他の項目をみると、男性では「公共交通がなく移動手段がなくなってしまうため」「家族の送迎等の必要があるため」の順になっているのに対し、女性の場合は「生活・仕事で必要なため」が2番目となっており、買い物等での移動に必要不可欠であると考えられる。
- 地域別にみると、どの地域でも「返納の必要性を感じない」が最も多いが、中でも北部地域では82%と他地域より20%程度多い。また、沼南地域では「公共交通がなく移動手段がない」が56%と他地域より多い。

#### <柏市全体>

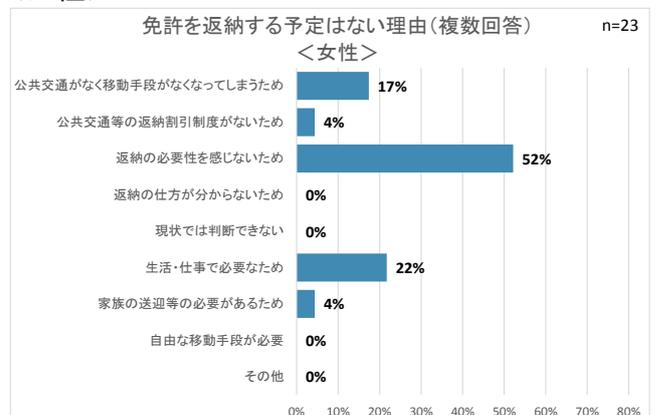


#### <性別>

##### <男性>

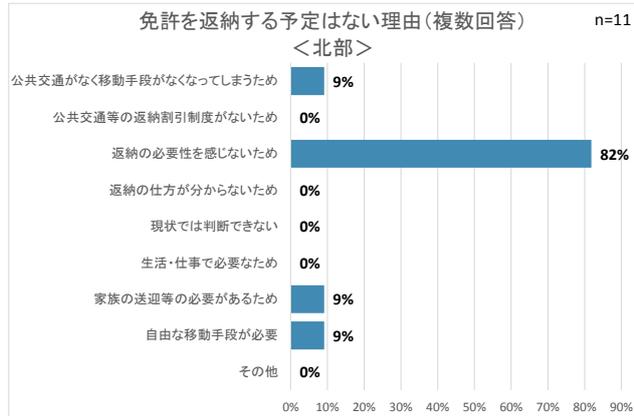


##### <女性>

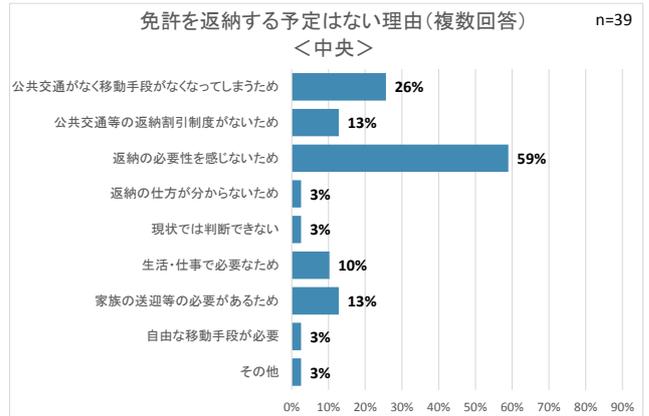


<地域別>

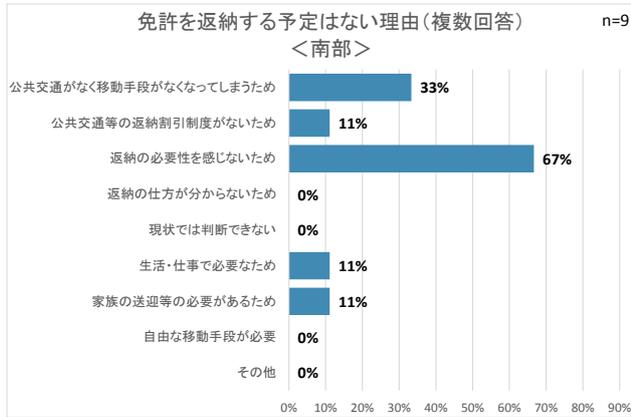
<北部地域>



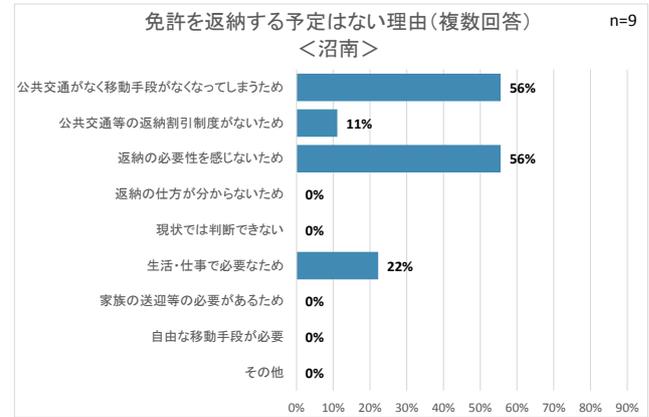
<中央地域>



<南部地域>



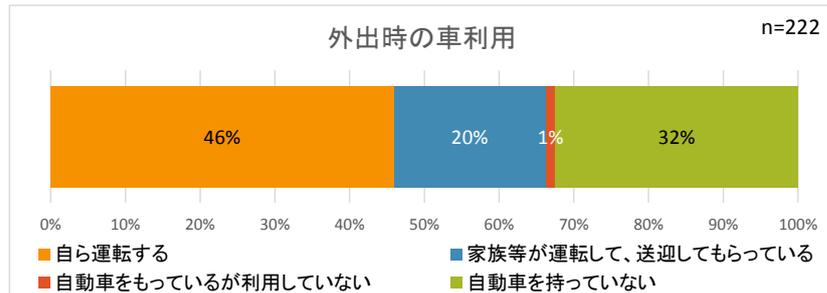
<沼南地域>



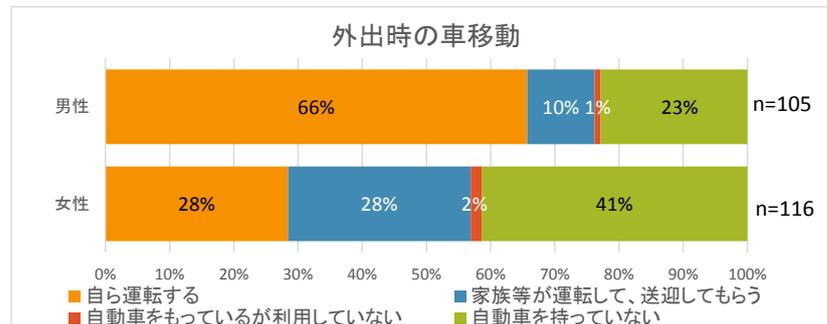
#### 4) 外出時の自動車の利用方法

- 「自ら運転する」が半数程度で、「家族等に送迎してもらっている」が20%。「自動車を持っていない」も32%存在する。
- 男女別では、男性は自ら運転する割合が66%と高いのに対して、女性では28%と半数以下である。また、女性の場合自動車を持っていない割合も高く40%を占めている。
- 地域別にみると、沼南地域の居住者は自ら運転する割合が他の地域と比較しても高く、65%を占めている。

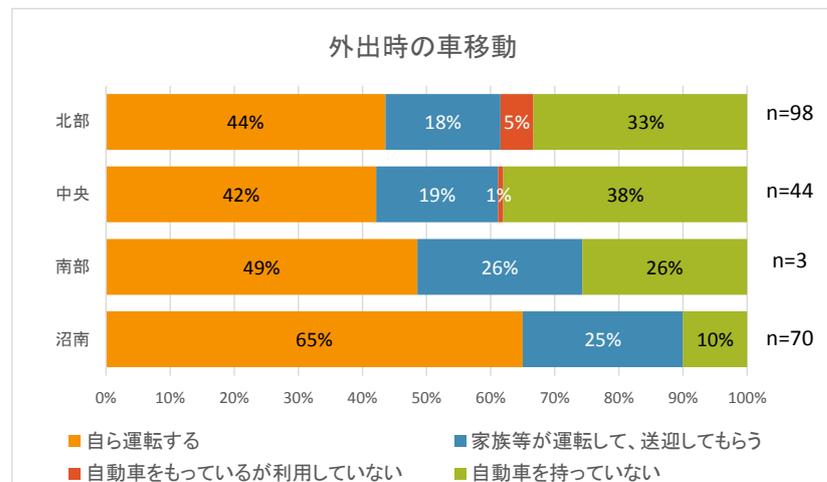
##### < 柏市全体 >



##### < 性別 >

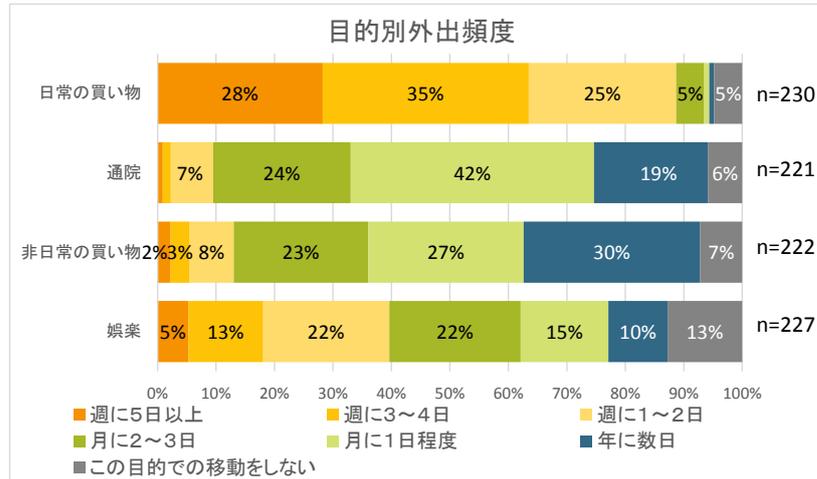


##### < 地域別 >



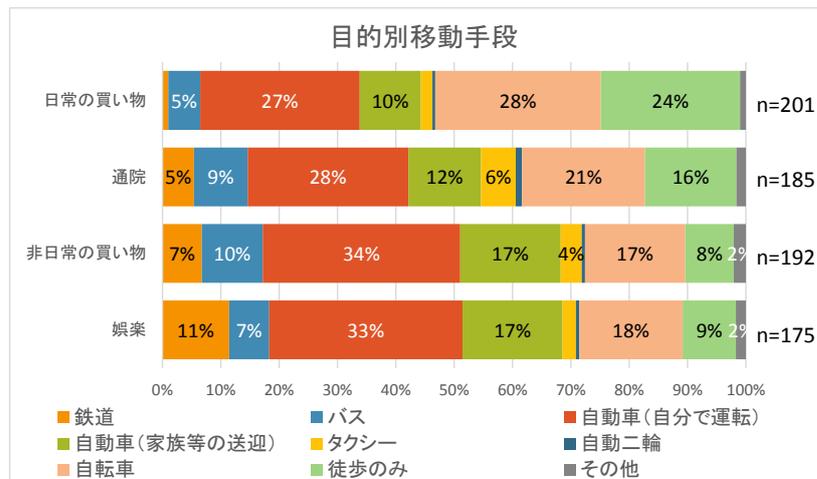
### 5) 目的別外出頻度

- 日常の買物では90%が週1以上外出している。
- 通院、非日常の買い物では外出頻度が低く、週に1回以上外出している割合は10%程度である。
- 娯楽目的での外出は比較的頻度が高く、週1日以上が40%存在する。



### 6) 目的別移動手段

- 日常の買物では、自転車と自動車（自ら運転）がそれぞれ30%程度と多い。また、自転車も24%存在する。
- 他の目的では自動車（自ら運転）の割合が高く、3分の1を占めている。
- バスの利用はどの目的でも10%以下であり、通院、非日常の買物が他の目的に比べると高い。



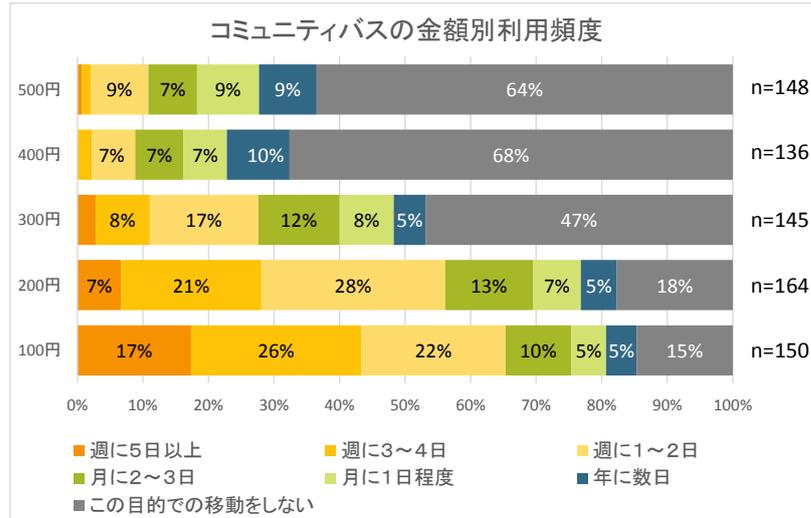
(3) コミュニティ交通について

1) コミュニティバスの運賃別利用頻度

○運賃が 200 円の場合と 100 円の場合とでは利用頻度に大きな違いはなく、週に 1 回以上利用する方が半数以上であった。300 円以上になると利用意向が大幅に減少する。

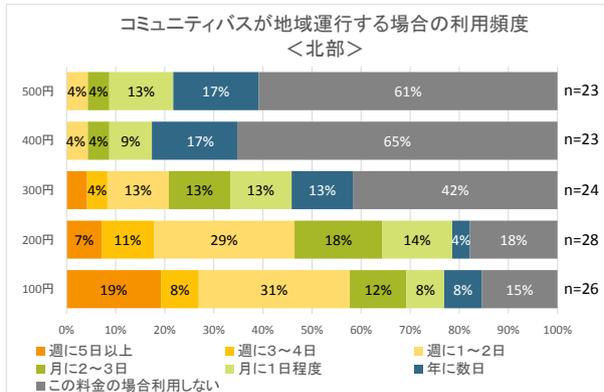
○地域別にみると、沼南地域ではどの金額でも利用頻度の低い割合が高く、一方で南部・中央地域では 200 円でも半数以上が週に 1 日以上利用している。

< 柏市全体 >

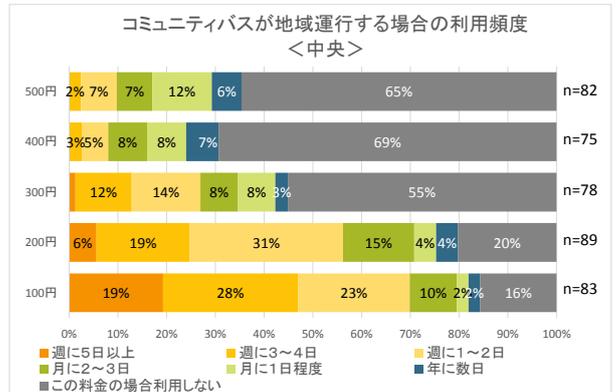


< 地域別 >

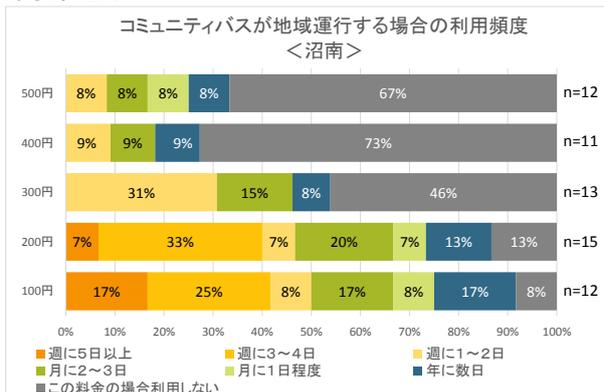
< 北部地域 >



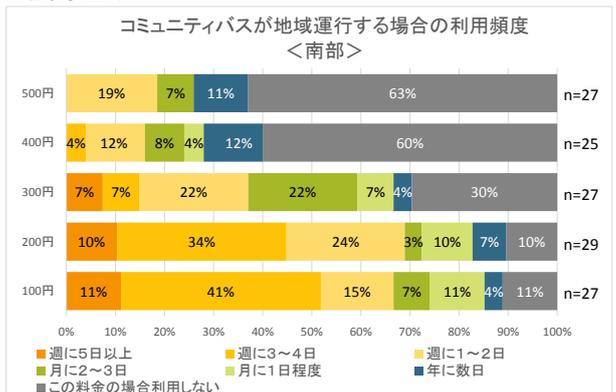
< 中央地域 >



< 南部地域 >



< 沼南地域 >



#### (4) 負担方法別の運行意向

- ・ 全国では、コミュニティバスの運行にあたり、地域で一定の負担を伴いながら運行する方法が増加している。そのタイプ別に運行意向を確認した結果を示す。

**【A】利用者負担型**：利用状況に応じて、利用者の負担（運賃）を変更する方式

**【B】自治会負担型**：地域や自治会等が運行経費の一部を負担する方式

**【C】自治会と市等による自主運営型**

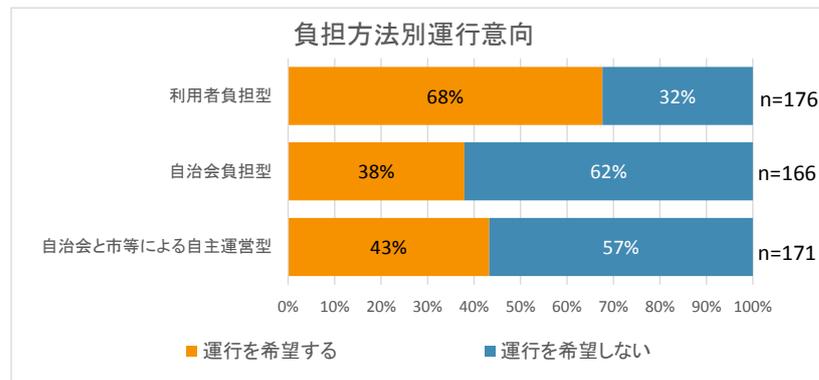
：自治会等の発案により運賃や頻度を設定・運行経費も負担する方式

○全体では、「利用者負担型」の場合でも運行を希望する方が68%存在した。一方、「自治会負担型」「自治会と市等による自主運営型」では運行希望は40%程度であった。

○地域別にみると、北部地域、中央地域、南部地域では「利用者負担型」の場合運行を希望するが70%前後となっている。特に南部地域ではその割合が高い。

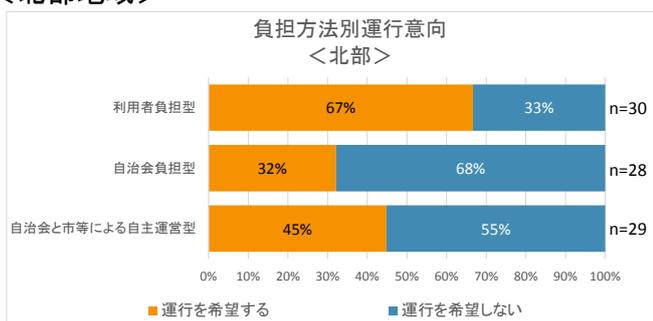
○沼南地域は、どの負担方法でも運行の希望が半数以下であった。

#### <柏市全体>

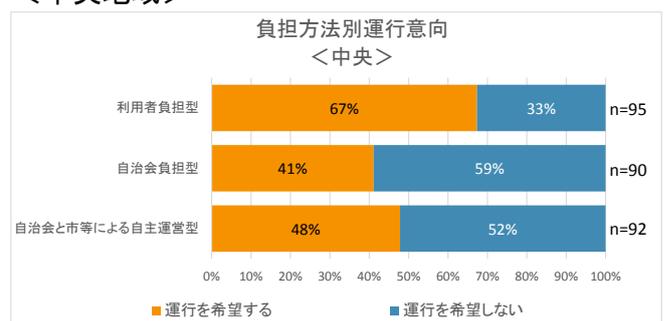


#### <地域別>

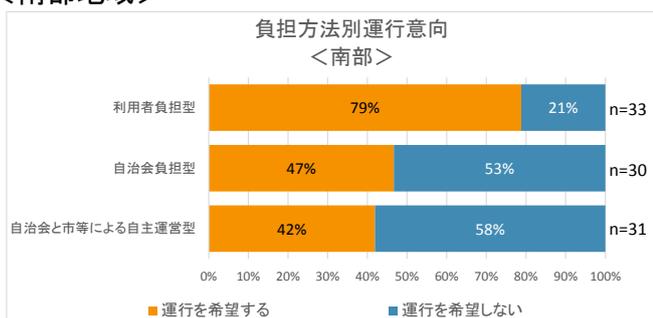
##### <北部地域>



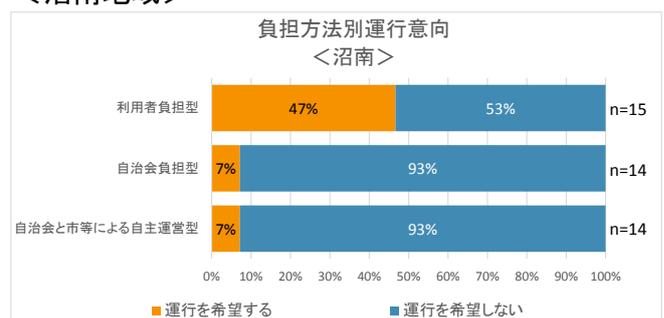
##### <中央地域>



##### <南部地域>



##### <沼南地域>



(5) 自由意見の内容

1) 公共交通がなければ移動が困難な箇所

- 現在、日常的に移動している箇所のうち、公共交通で移動ができなければ生活に支障をきたす箇所を確認した。
- 病院との回答が最も多くなっており、地域別にみても病院の割合は高い。
- 南地域では、他の地域に比べて日常の買い物も不便になるとの回答割合が高い。

場所	合計 件数	地域別割合			
		北部	中央	南部	沼南
病院	29	14%	11%	13%	18%
日常の買い物	20	2%	9%	10%	18%
非日常の買い物	7	7%	2%	5%	0%
鉄道駅	5	0%	2%	5%	0%
娯楽	8	5%	2%	8%	0%
すべて	9	5%	3%	5%	5%

※地域別割合は、各地域の回答者数に対する回答割合

2) 公共交通に望むこと

- 路線バス・コミュニティバスの運行を望む意見が特に多くなっており、次いでバスの増便であった。
- 地域別にみると、南部地域では路線バス・コミュニティバスの運行を望む割合が他の地域と比べても高く、次いで中央地域となっている。
- 沼南地域ではバス料金の値下げの要望割合が高い。
- 北部地域を除き、バスの小型化に関する要望もある。

内容	合計 件数	地域別割合			
		北部	中央	南部	沼南
路線バス・コミバス等の運行	44	12%	19%	28%	14%
デマンド交通の運行	2	0%	2%	0%	0%
バス料金の値下げ	8	0%	3%	3%	14%
バスの増便	11	0%	2%	0%	0%
バスの小型化	2	0%	4%	5%	5%

※地域別割合は、各地域の回答者数に対する回答割合

### 3 調査結果を受けた課題と対策の方向性

- 沼南地区では、自ら運転して移動している方も多く、利用者や自治会等の負担を伴うコミュニティ交通の運行は受け入れられにくい傾向にある。
- 一方で、特に中央地域、南部地域では自らの負担を伴ってでもコミュニティ交通を運行してもらいたいとの意向があり、これらの地域では、200円以下でコミュニティバスを運行した場合の週1日以上の利用割合も高く、一定の需要があるとみられる。
- 今後、さらに高齢化が進行し、自動車の運転が困難になる方が増加する可能性が高いことから、道路状況等からの運行可能性も考慮しつつ、高齢者の交通手段確保について具体的に検討を進めることも考えられる。

## 柏市内の公共交通に関するアンケート調査

柏市内にお住まいの皆様

日ごろ、柏市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

柏市では公共交通をより利用しやすいものとするため、新たな交通計画の策定を進めているところですが、この計画の検討にあたり、皆様のご意見・ご要望を把握するためアンケートを実施します。

このアンケートの調査結果はすべて統計的に処理し他の目的には一切使用しませんので、あなた自身のお考えをありのままにご記入ください。

なお、このアンケートは、平成29年6月1日時点で住民登録されている方の中から無作為に抽出して対象者を選んでおりますことを申し添えます。

平成29年7月

### <アンケート実施機関>

#### 【実施主体】

柏市役所 土木部 交通政策課

TEL：04-7167-1219 担当：大山・石堀・中川

#### 【調査主体】

パシフィックコンサルタンツ株式会社

社会マネジメント本部 交通政策部

TEL：0120-068-226 担当：田鶴・星野

### <回答にあたって>

- 回答はアンケート調査票に直接ご記入ください。
- 回答が終わりましたら、お手数ですが、同封している返信等封筒に入れて、平成29年7月24日(月)までに最寄りの郵便ポストにそのまま投函してください。(切手は不要です)



**1-5** 以下の目的での移動についてお聞きします。各目的について、外出頻度、主な移動手段、店舗名・目的地、片道の移動時間をお答えください。

	(1)外出頻度	(2)主な移動手段	(3)店舗名・目的地等	(4)片道の移動時間
	あてはまる番号1つに○	あてはまる番号1つに○	具体的な店舗名や目的地を空欄に記入	具体的な片道の移動時間を空欄に記入
<b>日常的な買物</b> (食料品・日用品等)	1 週に5日以上 2 週に3~4日 3 週に1~2日 4 月に2~3日 5 月に1日程度 6 年に数日 7 この目的で外出しない	1 鉄道 2 バス 3 自動車(自分で運転) 4 自動車(家族等の送迎) 5 タクシー 6 自動二輪 7 自転車 8 徒歩のみ 9 その他( )		分
<b>通院</b>	1 週に5日以上 2 週に3~4日 3 週に1~2日 4 月に2~3日 5 月に1日程度 6 年に数日 7 この目的で外出しない	1 鉄道 2 バス 3 自動車(自分で運転) 4 自動車(家族等の送迎) 5 タクシー 6 自動二輪 7 自転車 8 徒歩のみ 9 その他( )		分
<b>非日常の買物</b> (家具、衣類、電化製品、贈り物等)	1 週に5日以上 2 週に3~4日 3 週に1~2日 4 月に2~3日 5 月に1日程度 6 年に数日 7 この目的で外出しない	1 鉄道 2 バス 3 自動車(自分で運転) 4 自動車(家族等の送迎) 5 タクシー 6 自動二輪 7 自転車 8 徒歩のみ 9 その他( )		分
<b>娯楽</b> (趣味、習い事、食事等)	1 週に5日以上 2 週に3~4日 3 週に1~2日 4 月に2~3日 5 月に1日程度 6 年に数日 7 この目的で外出しない	1 鉄道 2 バス 3 自動車(自分で運転) 4 自動車(家族等の送迎) 5 タクシー 6 自動二輪 7 自転車 8 徒歩のみ 9 その他( )		分

**1-6** **1-5** (3)で記入した店舗名・目的地のうち、今後、公共交通で移動できなければ生活に影響があると考えるものをお答えください。(空欄に記入)

--

**1-7** 日常の移動において、不便と感じていることや困っていることがあればご自由にお答えください。(空欄に記入)

--

## 2. コミュニティバスについてお聞きます。

現在、柏市では市内南部地域で「かしわ乗合ジャンボタクシー」というコミュニティバスを運行しています。

かしわ乗合ジャンボタクシーの運賃は、大人 200 円・子供 100 円ですが、運賃収入だけでは赤字が発生しており、柏市が利用者 1 人あたり 1 回の利用につき約 500 円の補助金を出してきました。

- 2-1** 今後、コミュニティバスがあなたのお住まいの地域で運行し、1 回の利用あたりの運賃が以下の①～⑤の場合、どの程度利用すると思いますか。  
(①～⑤それぞれ 1 つに○)

1 回の運賃	利用頻度		
① 500 円	1 週 5 日以上 4 月 2～3 日 7 この料金の場合利用しない	2 週 3～4 日 5 月 1 日程度	3 週 1～2 日 6 年に数日以下
② 400 円	1 週 5 日以上 4 月 2～3 日 7 この料金の場合利用しない	2 週 3～4 日 5 月 1 日程度	3 週 1～2 日 6 年に数日以下
③ 300 円	1 週 5 日以上 4 月 2～3 日 7 この料金の場合利用しない	2 週 3～4 日 5 月 1 日程度	3 週 1～2 日 6 年に数日以下
④ 200 円	1 週 5 日以上 4 月 2～3 日 7 この料金の場合利用しない	2 週 3～4 日 5 月 1 日程度	3 週 1～2 日 6 年に数日以下
⑤ 100 円	1 週 5 日以上 4 月 2～3 日 7 この料金の場合利用しない	2 週 3～4 日 5 月 1 日程度	3 週 1～2 日 6 年に数日以下

柏市ではコミュニティバスの赤字を補填していますが、全国では、地域にとってよりよい公共交通とするとともに持続可能な運営を行うため、利用者や地域（自治会等）も主体的に関与する運営方式が採用されています。

**2-2** あなたがお住まいの地域で、以下のような負担方法での運行を行った場合の運行意向についてお答えください。(それぞれ1つに○)

**【A】利用者負担型**

(利用状況に応じて、利用者の負担（運賃）を変更する方式)

**例) 協定により運賃（利用者負担）を割引する方式（金沢市）**

- ・金沢市の仲介のもと、金沢大学と事業者が学生のために値引き運賃の協定を締結。
- ・取り決めた採算ラインを下回った場合、運賃値引きの取りやめを行う。  
(料金の割引内容) 通常は170円～200円/回を100円に値引き。

**【回答欄】**      **1** 運行を希望する                      **2** 運行を希望しない

**【B】自治会負担型** (地域や自治会等が運行経費の一部を負担する方式)

**例) 自治会等によるまちバスの運行（高松市）**

- ・運行経費のうち、運賃収入と広告収入で賄いきれなかった額を自治会等が補助金として補填する方式。運行はバス事業者に委託。  
(自治会等の負担) 運行経費13,000千円のうち30%が運賃収入、35%が広告収入、残りの35%が自治会等による負担で賄われている。

**【回答欄】**      **1** 運行を希望する                      **2** 運行を希望しない

**【C】自治会と市等による自主運営型**

(自治会等の発案により運賃や頻度を設定・運行経費も負担する方式)

**例) 自主運営によるあおばすの運行（市原市）**

- ・自治会等が運賃設定や運行頻度など運行仕様を決めるとともに運行経費を負担する方式、行政は運行経費の半額を補助。運行は市原市の仲介を得てバス事業者に委託。  
(自治会等の負担) 運行経費約18,000千円の半額9,000千円より運賃収入が低かった場合、不足分を自治会が負担。

**【回答欄】**      **1** 運行を希望する                      **2** 運行を希望しない

### 3. 柏市内の公共交通についてご自由にお答えください。

柏市内の公共交通について望むことがあればお答えください。(空欄に記入)

### 4. あなた個人についてお聞きします。

4-1 お住まいの地域をお答えください。(空欄に記入)

例) 柏〇丁目、松ヶ崎、大井など大字のみ記入

4-2 年齢をお答えください。(1つに〇)

1 65歳以上 70歳未満 2 70歳以上 75歳未満 3 75歳以上 80歳未満

4 80歳以上 85歳未満 5 85歳以上

4-3 性別をお答えください。(1つに〇)

1 男性

2 女性

4-4 世帯構成(同居者)をお答えください。(複数回答可)

1 本人のみ

2 配偶者

3 子

4 孫

5 親

6 その他(兄弟など)

アンケートは以上です、ご協力ありがとうございました。